

防草シート施工の流れ

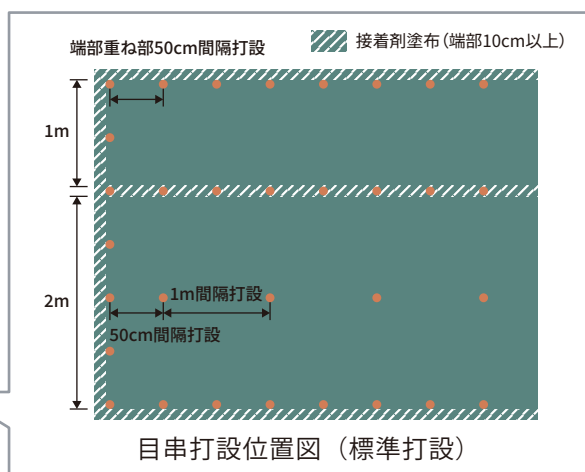


01 雑草を除去し、整地を行います

しっかりとした下地処理が重要です。
雑木等の切り株や不陸があると隙間ができたり破れに繋がる可能性が高まります。また不陸は施工後のシートの上に土が溜まりやすくなる原因にもなります。



02 シートを広げます



03

仮止めし、 目串打設箇所にマーキングを行います

上の図は幅5m×20mの現場を想定しています。あくまで打設の一例です。原則は3～4本/m²で必要目串数量を算出します。急勾配の法面や風が強い現場などでは5～6本/m²打設することもあります。



目串を打設します

使用する目串・ピンは現場状況に応じて変更してください。
荷重分散のためワッシャーとの併用を推奨します。



04



05

シート同士の重ね部分はテープもしくは接着剤で接着します。

*写真は接着剤を使用

裏面の施工ポイントもご確認ください ▶

防草シート施工ポイント

→ 目串にプラスαの工夫を 目串打設のポイント

目串打設の際はワッシャーを併用するかテープで押さえるようにしてください



防草力の高いドーム型ワッシャー



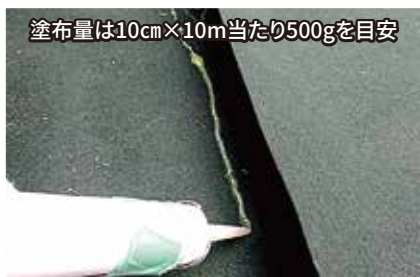
穴が開いている平板タイプのPEワッシャー



目串+テープ

→ 重ね部はめくれやすいので丁寧に シート接合のポイント

シート同士の重ね代は10cm以上とり、テープか接着剤で必ず接着するようにお願いします



塗布量は10cm×10m当たり500gを目安

接着剤による接着

被着面の汚れ・埃を除去し接着剤を塗布して圧着してください



テープによる接着

KOMAシリーズはテープの接着もお勧め



接着をしなかった場合

隙間から雑草が突き抜ける可能性があります

→ シートのカットは最小限に抑えましょう 障害物周りの処理のポイント



シートを広げたのち、障害物に沿ってシートをカットします



円カッターなどを使用し、被覆用のピースを準備します



カットしたシートの上に、ピースを被せ接着剤などで貼り付けます

→ シート端部がコンクリート面の場合 コンクリート面の処理のポイント



塗布量は10cm×10m当たり500gを目安

被着面の汚れ・埃を除去し接着剤を塗布してください



塗布した接着剤は10分ほど放置し、膜が貼ってきてから圧着してください

※状況に応じてコンクリートビス等で固定強化してください

この施工方法は一例です。
現場環境によって最適な施工方法・副資材は変わるため、詳しくは当社営業までお気軽にご相談ください。

 小泉製麻株式会社

TEL: 078-841-9347

FAX: 078-841-9349

www.koizumiseima.co.jp

WEED CONTROL SHEET